



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月12日

上場会社名 株式会社プレナス

上場取引所

東

コード番号 9945

URL <http://www.plenus.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）塩井 辰男

問合せ先責任者（役職名）経営管理室長（氏名）丸山 俊也

(TEL)092(452)3678

四半期報告書提出予定日 平成28年1月12日 配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年2月期第3四半期 | 109,102 | △4.8 | 4,723 | 1.3 | 5,038 | △8.8 | 2,950 | △2.9 |
| 27年2月期第3四半期 | 114,625 | 1.1 | 4,663 | △18.4 | 5,526 | △13.0 | 3,039 | △18.3 |

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 2,921百万円 (△3.7%) 27年2月期第3四半期 3,034百万円 (△18.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年2月期第3四半期 | 77.13 | 76.94 |
| 27年2月期第3四半期 | 79.54 | 79.29 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年2月期第3四半期 | 87,622 | 63,756 | 72.4 |
| 27年2月期 | 87,184 | 62,907 | 71.8 |

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 63,478百万円 27年2月期 62,560百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年2月期 | - | 25.00 | - | 25.00 | 50.00 |
| 28年2月期 | - | 30.00 | - | - | - |
| 28年2月期（予想） | - | - | - | 30.00 | 60.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 145,000 | △5.0 | 6,400 | △4.5 | 6,800 | △11.8 | 3,800 | △10.3 | 99.33 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 28年2月期3Q | 44,392,680株 | 27年2月期 | 44,392,680株 |
| 28年2月期3Q | 6,125,866株 | 27年2月期 | 6,174,610株 |
| 28年2月期3Q | 38,250,351株 | 27年2月期3Q | 38,218,164株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 四半期決算補足説明資料の入手方法について

- ・四半期決算補足説明資料は、平成28年1月12日(火)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 連結経営成績に関する説明 | P. 2 |
| (2) 連結財政状態に関する説明 | P. 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P. 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | P. 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | P. 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | P. 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | P. 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | P. 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | P. 7 |
| 四半期連結損益計算書 | P. 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | P. 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | P. 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P. 9 |
| (セグメント情報等) | P. 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境が改善する中、緩やかな回復基調が続いているものの、海外景気の減速を背景に、生産や輸出が弱含む等、力強さを欠きました。

当外食産業におきましては、人手不足の状況が継続し、また、個人消費の回復の動きが弱まる等、厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、引き続き新規出店を行うと共に、店舗のQSC(品質、接客、清潔感)向上、商品力の強化、効果的な販売促進活動の展開に努めました。また、「ほっともっと事業」及び「やよい軒事業」においてフランチャイズ展開を推進し、さらなる事業基盤の強化に向けて活動しました。

昨年10月には、新たな持ち帰り弁当ブランド「BizLunch(ビズランチ)」を創設しました。忙しい都心部のお客様へ”おいしい弁当”を”無駄なくスピーディに提供”することをコンセプトに、今後出店を進めていきます。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,091億2百万円(前年同期比4.8%減)、営業利益は47億23百万円(前年同期比1.3%増)、経常利益は50億38百万円(前年同期比8.8%減)、四半期純利益は29億50百万円(前年同期比2.9%減)となりました。売上高につきましては、既存店売上高が前年同期実績を下回ったこと、直営店の加盟店への移管が進んだことが要因で前年同期実績を下回りましたが、営業利益につきましては、直営店舗原価の改善や広告宣伝費等のコストの効率化を図った結果、前年同期実績を上回りました。経常利益及び四半期純利益につきましては、為替差益が減少したことが要因で、前年同期実績を下回りました。

[国内における店舗展開の状況]

| | 前連結会計 年度末 | 新規出店 | 退店 | 当第3四半期 連結累計期間末 | 改装・移転 |
|---------|--------------|------|-----|-------------------|-------|
| ほっともっと | 2,728店 | 48店 | 86店 | 2,690店 | 145店 |
| やよい軒 | 274店 | 13店 | 1店 | 286店 | 15店 |
| MKレストラン | 31店 | — | 1店 | 30店 | 17店 |
| 合計 | 3,033店 | 61店 | 88店 | 3,006店 | 177店 |

(注)「ほっともっと」には、「BizLunch(ビズランチ)」1店舗を含みます。

[海外における店舗展開の状況]

| | 展開エリア | 前連結会計 年度末 | 新規出店 | 退店 | 当第3四半期 連結累計期間末 |
|--------|---------|--------------|------|----|-------------------|
| ほっともっと | 中国 | 6店 | 1店 | 1店 | 6店 |
| | 韓国 | 4店 | 1店 | 1店 | 4店 |
| やよい軒 | タイ | 129店 | 10店 | — | 139店 |
| | シンガポール | 6店 | — | — | 6店 |
| | オーストラリア | 1店 | 1店 | — | 2店 |
| | 台湾 | 2店 | 2店 | — | 4店 |
| 合計 | — | 148店 | 15店 | 2店 | 161店 |

セグメントの業績は次のとおりであります。

【ほっともっと事業】

店内調理による手づくりの特長を活かしつつ、「健康」をテーマとした様々な取り組みを行いました。お客様のより健康的な食生活を支えることが出来るよう、商品の製造工程や調理工程を見直し、昨年4月より全弁当メニューを対象に減塩を実施しました。また、低カロリーで野菜をたっぷり使用した「タニタ監修弁当」の販売を全国に広げると共に、栄養のバランスがよいメニューを日替わりで提供する「Bento5」を発売する等、健康志向のお客様への訴求を図りました。さらに、全国9地区で、それぞれの地域に根付いた料理を商品化した「ご当地弁当」を発売する等、幅広いお客様のニーズへの対応も図りました。

昨年6月には、地域により人件費や地代家賃等の店舗運営に係るコストが異なる状況に対応するため、三大都市圏にて一部商品の価格改定を実施しました。

加えて、店舗収益力の一層の強化を図るため、店舗の改装・移転を積極的に行うと共に、不採算店舗の早期退店を進めました。また、一部店舗に券売機を導入する等、新たな取り組みも行ってまいります。

フランチャイズ展開につきましては、「ユニットFC制度」を利用して、引き続き新規オーナーの獲得及び既存オーナーの多店舗化に積極的に取り組みました。

しかしながら、既存店売上高は、前年同期比95.7%となりました。

以上の結果、売上高は、853億85百万円(前年同期比6.8%減)、営業利益は33億69百万円(前年同期比0.3%減)となりました。売上高につきましては、既存店売上高が前年同期実績を下回ったこと、直営店の加盟店への移管が進んだことが要因で前年同期実績を下回りました。営業利益につきましては、直営店舗原価の改善や広告宣伝費等のコストの効率化を図ったものの、既存店売上高の減少の影響により、前年同期実績をわずかに下回りました。

【やよい軒事業】

素材や手づくり感にこだわった定食メニューをお手頃な価格で提供することを基本に、「ゴーヤーちゃんぷるー定食」「さんまの塩焼定食」等の郷土性や季節感を取り入れた商品やボリューム感ある商品を発売し、他店との差別化を図りました。また、お客様に快適にご利用いただけるよう、店舗のQSCの向上に努めると共に、テレビCMの放映やディスカウントキャンペーンを効果的に実施し、お客様の来店促進を図りました。さらに、定食・朝食のごはんを十六穀米に変更できるサービスを開始し、健康的でバランスのよいメニューを発売するなど、女性やシニアのお客様への訴求を図りました。

また、フランチャイズ展開を推進するため、新規オーナーの募集を行い、加盟店の増加に努めました。

店舗展開につきましては、初めて沖縄県・茨城県に出店する等、事業展開エリアを着実に広げております。

しかしながら、既存店売上高は、前年同期比98.6%となりました。

以上の結果、売上高は211億91百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益は12億27百万円(前年同期比10.3%減)となりました。売上高につきましては、新規出店により店舗数が増加したことが要因で、前年同期実績を上回りました。営業利益につきましては、既存店売上高の減少や広告宣伝費の増加等により、前年同期実績を下回りました。

【MKレストラン事業】

豊富な具材と個性豊かなスープが選べる「MK鍋」に、本格飲茶やランチセットも取り揃え、お客様の幅広いニーズへの対応を図りました。お客様に「MK鍋」をよりお楽しみいただけるよう、2種類のスープを選べる仕切鍋を導入した他、約半数の店舗で寿司食べ放題のメニューを開始する等の取り組みも実施しました。また、店舗のQSCの向上に努めると共に、テレビCMの放映や携帯電話・スマートフォンを利用した「MKポイントサービス」会員の獲得にも注力する等、お客様の来店促進を図りました。

これらにより、既存店売上高は前年同期比105.7%と好調に推移しました。

以上の結果、売上高は25億26百万円(前年同期比4.6%増)、営業利益は2億21百万円(前年同期比336.3%増)となりました。売上高につきましては、既存店売上高が増加したことが要因で、前年同期実績を上回りました。営業利益につきましては、既存店売上高の増加や、原価改善等により、前年同期実績を大きく上回りました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4億38百万円増加し、876億22百万円となりました。内訳は、流動資産13億62百万円の減少、固定資産18億円の増加であります。流動資産の減少は、現金及び預金15億4百万円の減少、受取手形及び売掛金2億41百万円の減少、商品及び製品4億46百万円の増加などによるものです。また、固定資産の増加は、有形固定資産15億29百万円の増加、投資その他の資産2億80百万円の増加などによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ4億11百万円減少し、238億65百万円となりました。内訳は、流動負債59百万円の増加、固定負債4億71百万円の減少であります。流動負債の増加は、支払手形及び買掛金4億3百万円の増加、未払金4億51百万円の減少、未払費用5億65百万円の増加、未払法人税等6億13百万円の増加、未払消費税等8億33百万円の減少などによるものです。固定負債の減少は、長期未払金4億5百万円の減少などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ8億49百万円増加し、637億56百万円となりました。内訳は、利益剰余金が四半期純利益により29億50百万円増加、剰余金の配当により21億3百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の業績予想につきましては、平成27年10月8日に公表しました数値から修正しております。詳細は、本日開示しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、主要な関係会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年2月28日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 23,748 | 22,244 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,343 | 2,101 |
| 商品及び製品 | 5,357 | 5,803 |
| 原材料及び貯蔵品 | 49 | 51 |
| その他 | 2,944 | 2,808 |
| 貸倒引当金 | △163 | △90 |
| 流動資産合計 | 34,281 | 32,918 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 26,665 | 27,895 |
| その他(純額) | 10,152 | 10,451 |
| 有形固定資産合計 | 36,817 | 38,347 |
| 無形固定資産 | | |
| | 501 | 491 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 15,603 | 15,894 |
| 貸倒引当金 | △19 | △29 |
| 投資その他の資産合計 | 15,584 | 15,865 |
| 固定資産合計 | 52,903 | 54,703 |
| 資産合計 | 87,184 | 87,622 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,912 | 5,316 |
| 未払法人税等 | 310 | 924 |
| 賞与引当金 | 319 | 64 |
| ポイント引当金 | 95 | 92 |
| 株主優待引当金 | 76 | 31 |
| 資産除去債務 | 22 | 9 |
| その他 | 9,686 | 9,044 |
| 流動負債合計 | 15,424 | 15,483 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | 4,357 | 4,528 |
| その他 | 4,494 | 3,853 |
| 固定負債合計 | 8,852 | 8,381 |
| 負債合計 | 24,276 | 23,865 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年2月28日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,461 | 3,461 |
| 資本剰余金 | 4,916 | 4,888 |
| 利益剰余金 | 66,157 | 67,004 |
| 自己株式 | △12,035 | △11,940 |
| 株主資本合計 | 62,500 | 63,414 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 18 | 27 |
| 繰延ヘッジ損益 | 2 | - |
| 為替換算調整勘定 | 39 | 37 |
| その他の包括利益累計額合計 | 60 | 64 |
| 新株予約権 | 235 | 200 |
| 少数株主持分 | 110 | 77 |
| 純資産合計 | 62,907 | 63,756 |
| 負債純資産合計 | 87,184 | 87,622 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 114,625 | 109,102 |
| 売上原価 | 53,259 | 49,324 |
| 売上総利益 | 61,366 | 59,778 |
| 販売費及び一般管理費 | 56,702 | 55,054 |
| 営業利益 | 4,663 | 4,723 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 47 | 52 |
| 受取配当金 | 8 | 3 |
| 為替差益 | 558 | 99 |
| 固定資産賃貸料 | 117 | 117 |
| 持分法による投資利益 | 12 | 11 |
| その他 | 165 | 143 |
| 営業外収益合計 | 909 | 428 |
| 営業外費用 | | |
| 固定資産賃貸費用 | 24 | 20 |
| 保険解約損 | - | 64 |
| その他 | 21 | 28 |
| 営業外費用合計 | 46 | 113 |
| 経常利益 | 5,526 | 5,038 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 9 | 3 |
| 特別利益合計 | 9 | 3 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 272 | 238 |
| 減損損失 | 297 | 218 |
| その他 | 31 | 13 |
| 特別損失合計 | 601 | 470 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,934 | 4,572 |
| 法人税等 | 1,914 | 1,652 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,020 | 2,919 |
| 少数株主損失(△) | △19 | △30 |
| 四半期純利益 | 3,039 | 2,950 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,020 | 2,919 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 13 | 8 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | △2 |
| 為替換算調整勘定 | 0 | △3 |
| その他の包括利益合計 | 13 | 2 |
| 四半期包括利益 | 3,034 | 2,921 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,053 | 2,954 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △19 | △32 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------------|--------------|------------|---------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | ほっともつと 事業 | やよい軒 事業 | MKレスト ラン事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 (その他営業収入を含む) | 91,626 | 20,583 | 2,415 | 114,625 | — | 114,625 |
| (2) セグメント間の内部売上 高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 91,626 | 20,583 | 2,415 | 114,625 | — | 114,625 |
| セグメント利益 | 3,379 | 1,369 | 50 | 4,799 | △135 | 4,663 |

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------------|--------------|------------|---------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | ほっともつと 事業 | やよい軒 事業 | MKレスト ラン事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 (その他営業収入を含む) | 85,385 | 21,191 | 2,526 | 109,102 | — | 109,102 |
| (2) セグメント間の内部売上 高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 85,385 | 21,191 | 2,526 | 109,102 | — | 109,102 |
| セグメント利益 | 3,369 | 1,227 | 221 | 4,818 | △94 | 4,723 |

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。